

入間市公共施設マネジメント事業計画（原案）市民説明会の概要（2月8日(金) 西武公民館）

1. 開催日時・会場

<西武地区>

日 時 平成31年2月8日（金） 午後7時00分から午後9時30分

場 所 西武公民館 2階 大会議室

2. 内容

①開会あいさつ（田中市長）

②公共施設マネジメント事業計画（原案）についての説明（公共施設マネジメント推進課）

③質疑応答

④閉会

3. 参加者数

参加者 89名

※ 質疑応答の概要は別紙のとおりです

「公共施設マネジメント事業計画（原案）」市民説明会 質疑応答一覧

No.	発言要旨	応答
1	<ul style="list-style-type: none"> • 1月26日に開催された西武小学校の説明会にも参加し、そこで3年後に中学校を統合するという話があった。しかし、今日配布された資料にも、今回の説明の内容にも統合について触れていないが、統合時期が遅くなったと理解してよいか。 • 統合することになった時、2年生からまたは3年生から別の学校に通うことになるとしたら、子ども達は新たな環境で生活することになる。それは入学当初のような不安を抱え、勉強どころではない。3年生では一生を決める受験もあり、精神的負担が大きくなってしまふ。それは統合しない地区に比べると公平ではない。ストレスで学校に行けなくなるかもしれない。統合するのであれば、入学したら同じ学校で卒業できるようにしてほしい。 	<p>(公マネ課) 時期についての詳細な説明はしなかったが、以前西武小学校で説明した時から計画は変わっていない。現段階では2022年度に統合する案のままである。しかし、統合時期に関しては考え直してほしいという意見は承っている。</p> <p>(学校教育課) 不安はあると思う。統合の仕方については、まだ具体的には決まっていない。しかし、2年生と3年生が残り、新1年生だけが統合した学校に通う場合、1校は2、3年生だけになる。それが1年経つと3年生だけになってしまう。その方法は学校教育や部活動を行うにあたり心配がある。今、決定していることはないが、貴重な意見として承る。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> • この事業計画の情報発信の仕方はどのように行ったのか。情報を得ることができなかった。今までに意見を述べる機会があったのか、また、どのように述べれば良かったのか。 • なぜ当初提示していた野田中学校を残す案から西武中学校を残す案に覆ったのか、地域住民として知りたい。先ほど決定に対する誤解があった説明を受けたが、誤解はしていない。私自身、いろいろな情報を加味して野田中学校が残ると思っていたし、実際に職員もそのように感じて素案を作成し、ホームページに掲載したと思う。安易な考えで示したとは考えにくい。どのような経緯で西武中学 	<p>(公マネ課) この事業計画についての情報発信はパブリックコメントに合わせて、ホームページ、公共施設で公開している。検討経過は昨年度、地域の団体の代表者を委員として地区懇談会を開催し、この計画の素案を検討した。その検討経過はホームページで公開している。また平成29年秋には一般の方向けに意見交換会を9地区で3回行った。素案は西武中学校、野田中学校それぞれ残した場合の優劣を示し、優位性の高いのは野田中学校ではないかという案を示した。今年度は5～7月に地域で素案に対する説明会を行った。説明会で使用した資料についてはホームページで公開している。また、広報紙にも公共施設マネジメントについての記事を掲載した。</p> <p>(公マネ課) 野田中学校を示したのは素案である。素案はたたき台であり、素案を作成した時は野田中学校を残した方が優位性が高いと示した。しかし、様々な意見をもらい、さらに詳細にいろいろな条件を検討した結果、西武中学校の方が長期的に見て優位、有効ではないかという結論に至った。</p>

	<p>校に統合することになったのか。今回の説明会で情報は増えたが、決め手はわからないままである。しかし、防災拠点に関しては納得した。東金子中学校等も合併を見据えているというが、あの勾配のある場所を合併するのは難しいのではないか。武蔵中学校の方が人数的には合併なのではないか。野田中学校は市境という話があったが、子どもは西武小学校、野田中学校に通うという未来を描いて西武仏子ニュータウンに住まいを購入したので、統合は待ってほしいというのが本音である。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どちらの中学校が残るにしても、心配なのは登下校の安全面である。野田中学校が残っても西武中学校区の生徒の登下校は心配だ。どちらの生徒にとっても安全面が心配であるが、安全面についてはどのように考えているのか教えてほしい。 • 決め手になるもの、重視したものは何か。2022年に統合するのは突然すぎる。長期的にじっくり取り組むことができるのではないか。 (意見のみ) 	<p>(公マネ課) 安全面はどちらの中学校に統合しても、学校までの距離が近くても遠くても、重要な問題である。道路、防犯様々な可能性について対応を考える。通学手段として、遠距離のため自転車通学になった場合には道路問題も考える要素となる。通学の問題はどこの学校に統合するかに沿って安全面の対応策を考える。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> • 統合させることは市民として賛成である。しかし、第3期の終了は今から30年後である。野田中学校は耐用年数までまだ約30年残っている。耐用年数まで野田中学校を残して、それから統合することはできないのか。 • 西武地区の南北に防災拠点を配置するという考えであったが、西武小学校と仏子小学校のうち、仏子小学校を残すということは検討したのか。仏子小学校と野田中学校を残せば、川を挟んで1校ずつ学校を残すことができる。 • パブリックコメントを2月下旬まで行い、事業計画は3月に決定するというのは考える時間が短いのではないか。 • 方向性だけでも教えてほしい。他の学校の合意の上で西武中学校を採用したという話だが、公共施設マネジメントの考えでは30年先までしか見ていない。小学生の人数も30年先までしか資料が出てないの 	<p>(公マネ課) 耐用年数から見れば、野田中学校はまだ活用できる。頂いた意見を踏まえて今後の活用を検討する。</p> <p>(公マネ課) 小学校の統合については、検証した結果も地域住民からの意見も西武小学校を残した方が良いという意見が大多数であったため、その意見を採用した。野田中学校を残して仏子小学校に統合することは意見として承っている。</p> <p>(公マネ課) 意見として承る。今年度中に決定するが、時点修正や見直しは行う。大きな枠組みとして計画をまとめ、事業としてスタートさせたい。</p> <p>(公マネ課) この計画は30年間であり30年後の見通しを立てることは難しい。そのため計画は状況を見ながら時点修正し、見直しが必要である。説明のとおり、学校は短期的に大きく変わるものではな</p>

	<p>に決定することは難しいのではないかと考えているのになぜ30年以降のことを話すのか。</p>	<p>く長期的に考えるべきものである。さらに中学生の人数減少は将来的な課題として捉えるべきと考えている。そのため市の範囲として広いエリアが捉えられる西武中学校が良いのではないかと考えた。</p> <p>(公マネ課) 整備の計画として30年間の財政計画を含めて考えた。施設としては30年だけで考えるのではなく、その先のことも考えなければならない。学校は長期的視点が必要として考えた。</p>
4	<p>・今回も1月26日に行われた説明会でも、パブリックコメントを提出するようにと聞くが、説明会で意見を述べてもパブリックコメントを提出しなければ市民の意見は届かないのか。説明会で市民の生の声が聞こえているのに、ないがしろにされているように感じる。</p>	<p>(公マネ課) 基本的にパブリックコメントで意見を出してもらえるとありがたい。地区懇談会や意見交換会などの説明会も議事録として記録を残している。どのような対応をしたのかも記録しており、計画を策定するにあたって考慮する。説明会とパブリックコメントとは扱いが異なるが、両方共どのような対応をするかを記録してとりまとめて公表する。また、計画にどのように反映するのか考える。</p>
5	<p>・情報が伝わってこないことには同感である。子どもに関する事には目を通している。市報や公共施設に関する配布物についても以前配布されたものは目を通している。その上で野田中学校が残ると思っていた。当初の案も野田中学校に統合するとしてホームページに掲載している。なぜ野田中学校ではなく西武中学校に統合するのか。時期についても突然3年後に統合するというのに納得できない。納得できる説明がほしい。以前10年後に野田中学校に統合すると案として示していたが、当初の案と現在の案で変更があった部分について説明をしてほしい。防災拠点についても納得できるどころとできないところがあるが、何よりも重要視したいのは子どもの安全である。安全面を考えるのならば、学校の統合を急ぐよりも通学路の整備を急ぐべきではないか。中橋は交通量も多く危険である。あの状況で自転車通学になり、多くの西武地区の人が学校に通うというのは、住民の目があるから安全とはいえない。スクールバスを出したり、道を整備したりしてから西武中学校に統合するというなら納得できるが、3年後に統合ということに関して納得できる説明をしてほしい。</p>	<p>(公マネ課) 計画の中で統合時期は3年後と示した。3年間かけて準備する予定である。学校での説明会や既に提出されているパブリックコメント、電話による問い合わせでも時期について再考すべきという意見を頂いている。そのため時期については検討する余地があると考えている。</p> <p>(学校教育課) 安全面は第一に考えている。隣市の自転車通学を許可している学校では、通学路にバイパスを挟んでおり危険なところもあった。通学手段は具体的に決定してはいないが、基準としては地図上の起伏を除く直線距離で2kmを超えると自転車通学を許可している。地域的特性もあり、通学路に暗いところが多い場合は1.5kmを超えると自転車通学となる。市内の中学校でも1.5kmを超えると自転車通学が許可され、40%の生徒が自転車通学をしている学校もある。通学方法についてはスクールバスも視野に入れて検討したい。</p> <p>来年の西武小学校と仏子小学校に通う新1年生から新5年生までの児童がどこにどのくらい住んでいるのかを地図上で確認してみた。野田中学校を中心として1.5km圏内に来年度仏子小学校、西武</p>

	<p>・なぜ3年後、なぜ野田中学校ではなく西武中学校を採用することにしたのか、経緯を教えてください。</p> <p>・西武中学校を残した理由が明確ではない。もっと明確に説明してほしい。総合的に鑑みて野田中学校を残す案として素案がホームページに掲載されているのに、原案としてまとめる段階で、西武中学校を残すという案に変わった経緯が分からない。住民との話し合いを含めて西武中学校を残すことにしたというならわかるが、その説明もない。耐用年数ならば野田中学校の方が西武中学校よりも長く残っている。道路を整備するなどして、野田中学校を30年先まで残して、それから統合を考えるのでも</p>	<p>小学校に通う児童がどの程度住んでいるのか、同様に西武中学校を中心として西武小学校、仏子小学校の児童が1.5km圏内でどの程度いるのかを確認した。野田中学校を中心として1.5km圏内で西武小学校区、仏子小学校区の児童が70%収まった。1.5km圏外の児童は30%である。同様に西武中学校を中心として1.5km圏内で西武小学校区、仏子小学校区の児童が80%収まり、1.5km圏外に住む児童は20%である。また、西武小学校区だけに限ると、野田中学校を中心として1.5km圏内に住む児童は92%おり、西武中学校を中心として1.5km圏内に住む児童は70%いる結果となった。同様に、仏子小学校の児童は野田中学校を中心として1.5km圏内に住む児童は24%おり、西武中学校を中心として1.5km圏内には100%の児童が住んでいるという結果がでた。この地図で抽出した児童は、統合の計画がこのまま進んだ場合、在校期間中で別の学校へ移動となると思われる学年を対象としている。スクールバスもこの地区だけでなく他地区も含めて検討する。</p> <p>(公マネ課) 3年後という時期に関しては、西武中学校の生徒数が減少していることが挙げられる。西武中学校では部活動も少なく、校外に出ている状況であることから、なるべく早く統合する必要があると考えた。西武中学校が選ばれた理由は、以前素案としてお示しした際は、建物、生徒数のことから野田中学校としたが、それ以外の立地条件、将来的な拡張、防災面などのいくつかの要素も含めて検討した結果、西武中学校に統合する案としてまとめた。</p>
--	---	---

	<p>良いのではないか。(意見のみ)</p>	
6	<p>・説明を受けても、資料を見ても、西武中学校を残すことにした決定打が分からない。先ほど西武中学校を残す案を採用した理由として、敷地が西武中学校の方が少し広い等、説明を受けたが、そもそも公共施設マネジメントの問題には財政的な問題があったと思う。実際3年後に統合して、西武中学校に通い、10年以内に西武中学校の建物を建替え、仮設校舎の設置した場合の費用と、30年後に野田中学校を建替える費用は比較したのか。10年後に建替えを行う時には生徒数の減少は16%しか減らないが、30年後に年少人口は41%減るとある。今、西武地区に通う中学生は全部で518人いるが30年後は41%減り、全部で300人強になる。10年後、建替えを行う時には生徒数はさほど変わらず、今と同規模の学校を建てることになるが、30年後300人強の生徒が全員入れる規模の学校を建替えるのでは、建物面積を減らすことができるのではないか。西武中学校と野田中学校を残した場合、それぞれ30年間でかかると見込まれる費用には、どのくらいの金額差があるのか。試算した結果、西武中学校を残す方が安価だったことが決定打になったのではないか。</p> <p>・15年目に建替えというのは、耐用年数である60年を超えてしまうが、問題はないのか。</p> <p>・可能ならば30年後に野田中学校を建替えた場合の試算結果も教えてほしい。</p> <p>(意見のみ)</p>	<p>(公マネ課) 西武中学校の建替えについては計画通りならば15年目になる。学校の整備費用は約18億円程度を見込んでいる。この数字はあくまで必要とする面積を基準単価で積算したもので、現段階で設計等を行っていない。20年後、30年後、野田中学校を建替えるならば、その時点で必要とされる規模の学校を建替えることになり、小さくなるのが予想できるが、それはクラス数が減るだけで、特別教室や職員室等は変わらず必要である。そのため、建物面積を減らすことができるのは多くても2割程度ではないかを見込んでいる。長期的に見ると現在の財政状況と30年後では、人口減少とともに税収が減り、厳しくなるだろう。</p> <p>(公マネ課) 耐用年数の60年というのは1つの目安である。現在の計画としては、他の公共施設の整備との財政なバランスを取り、60年の前後5年は許容範囲としてとらえている。正確にいうと今から11年目に基本設計を行い、その後5年間かけて工事が完了する計画である。</p>
7	<p>・資料には老朽化の記載がある。建物の寿命50～60年とあり、それを超えて使用を続けることは問題ではないか。(意見のみ)</p> <p>・防災面から考えて、野田中学校と西武中学校どちらに通うことが、子ども達は安全だと考えるか。</p>	<p>(教育長) 災害の種類によって違う。地震の他に台風による風水害もあり、一概にどちらが安全とは言えない。先ほどの説明でもあったが、西武中学校が県の災害指定地とされているわけではない。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度に藤沢地区を流れる不老川が氾濫した。西武地区でも、真ん中を川が流れており、氾濫する恐れもあるのではないかと思います。市の地震分布マップには、西武地区で唯一西武中学校周辺だけ震度 6 強が予想されている。野田中学校周辺は震度 5 強である。震度は 1 変われば大きな差である。さらにスライド 32 に市役所は震度 6 強以上で倒壊の恐れがあるため、建替えとある。築 50 年を超える西武中学校も壊れる恐れがあり、建替える必要があるのではないかと。倒壊の恐れがある西武中学校に通わせるというのはいかがなものか。補足として、市役所や市民会館・中央公民館周辺は震度 6 弱の予想となっている。 西武中学校と野田中学校は、どちらが安全なのか。子どもの安全が第一ではないか。 以前西武中学校を建替える際には、仮設校舎を建てず、今校舎が建っている前にある第一グラウンドに新校舎を建てるという説明を受けたが、今よりも川や、崖に近づいてしまう。また、建替えの最中に、生徒が部活動で第二グラウンドに移動するが、その際の危険性については考えたのか。 	<p>(公マネ課) スライド 32 で示した、市役所と市民会館・中央公民館は耐震補強を実施していないので危険だというものである。西武中学校は耐震補強を実施済みであるので、震度 6 強でも耐えられる。</p> <p>(公マネ課) 安全性の確保は第一に考える。安全面では、防災上の定められた可能性を根拠に決めるが、川の氾濫や土砂災害警戒区域を考え、野田中学校と西武中学校を比較し、いずれも災害発生の可能性は低いという前提で検討した。</p> <p>(公マネ課) 建替えは仮設校舎を建てずに、新校舎を建替える前提で事業費は試算した。川や斜面に近づくのは事実であるが、氾濫の可能性は低いと判断した。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> 野田中学校に訪問したことがあり、校舎から美しい景色が眺めることができ、自分の子どもたちも思春期をこの美しい環境に囲まれて過ごすことができることを夢見ていた。西武中学校には行ったことがないが、きれいな景色が見られる学校を廃止して、建物や広い敷地は今後どのように活用するのか。 具体的にどのように売却するのか。どの業者が携わっているのか。 売却は決まっているのか。 	<p>(公マネ課) 他の公共施設も同じだが、公共施設を集約化し、転用することを検討する。しかし、野田中学校は他の公共施設へ転用できる可能性も低い。そのため、現段階で事業計画の案では、用地は売却予定である。ただし、この計画は案であるため、具体的な決定はしていない。</p> <p>(公マネ課) この事業計画が決定したら、他の公共施設への転用や売却等の可能性を調べる。現段階では野田中学校の活用案は具体的にない。</p> <p>(公マネ課) 現在の計画案では売却を検討している。ただし、まだ、案の段階であり、市民の皆さんから意見を頂いている段階で、決定はしていない。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 野田中学校と西武中学校を災害の観点で比較した場合、野田中学校の方が災害にほとんど影響しない良い場所である。小中学生だけでなく、地域住民全体を考えて防災拠点を考えてほしい。土砂災害や台風が起きた時に川沿いにある避難場所に避難するというのは普通で考えない。今まで全国、全世界で起きた災害をテレビで見て、水があるところに近づいたらいけないということを学んだはずである。野田中学校は災害に対して影響の少ない良い場所に立地しているのに廃止してしまったら、災害発生時には安全に避難できる場所がなくなってしまう。 	<p>(危機管理課) 現実的には災害の可能性が低い場所を避難施設とすることが望ましい。しかし、現在危険な場所を除いて、用地の確保や施設立地の関係を含めて、実際にある公共施設に避難することを考えなければならない。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> 議事録を作成することは大事である。その議事録はぜひ公表してほしい。今日に至るまでに出た意見や検討経過は知らないため、このような事態になっている。過去の経緯も含めて示してほしい。また、今回のパワーポイントの資料では、野田中学校を残すという案から西武中学校を残すという案に変更した理由について、スライドが準備されていないため口頭で伝えられた箇所があった。そこは、西武中学校を選択した大事な部分である。その箇所を2月16日の説明会ではスライドにして配布してほしい。また、今回の説明会で出た意見と、パブリックコメントで提出された意見は同じ扱いにしてほしい。 方針はいつ変わったのか。 	<p>(公マネ課) 議事録の公表、今回口頭で説明した内容については公表する。</p> <p>(公マネ課) 案としてまとめるにあたり、今年度5～7月に開催した地区説明会で出た意見を踏まえて、8月～11月に庁内で昨年度開催した地区懇談会や意見交換会で頂いた市民意見、またその他にも今回提示した中学校の比較資料等から検討して11月に庁内案をまとめ、12月に議会へ報告した。計画をまとめたのは昨年11月である。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> 議会に報告したと説明を受けたが、議会というのは12月の定例会に挙げたのか。内容は公共施設の統廃合についての案か。 議会で検討したのではなく、報告をしただけか。 この計画は人口、構造体、経済、防災の4点から話が進んでいる。しかし、学校は教育の場である。先生が児童生徒を教育する場所であるのにもかかわらず、この計画に 	<p>(公マネ課) 12月議会の期間中に全員協議会を開き報告をした。</p> <p>(公マネ課) この計画は議案ではないので、報告案件である。</p> <p>(学校教育課) 計画ありきというわけではない。今紹介頂いた手引きについても承知している。大規模校、小規模校どちらの学校でもメリットとデメリットは存</p>

<p>は教育的視点が無いのはなぜか。統合により、児童生徒のパフォーマンスが上がるのであれば、統合には賛成である。しかし、児童生徒の通学距離が3kmあって、先生方は安心して登校を待てるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省の示している公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きの基本的な考え方として、学校規模適正化の配置は児童生徒の教育環境をより良くするために行うものと記載されている。この統廃合は子ども達にとって良くなると言えるのか。議論がなされていない。 ・また、地域コミュニティの核としての性格への配慮、地理的要因や地域事情による小規模校の存続とあり、小規模校の存続を選択する市町村の判断も尊重される必要があると記載されている。これを読むと、統合することが一番良い判断ではないのではないか。西武中学校も野田中学校も存続することも議論しても良いのではないか。この計画は公共施設マネジメントの結果ありきで進んでいるように思う。 ・多くの住民が集まり、意見を述べているが、住民の抱えているのは不安だけだ。これだけ住民が不安を唱えても2022年度に行われる統合を白紙撤回するとは言わない。もしくは、統合の時期を、5年後、10年後に延ばし、その間に十分に議論をした上で決めると意思表示してほしい。 <p>・全国を見れば過疎地にある学校もある。そこでは、十分なクラス数がないから教育が行えていないということはない。それなのに、今回の計画で、学校が遠くて通えないという子どもが出てきそう。学区内に7割、8割の児童生徒が通えるから大丈夫とは言えないのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民がみんな感じている不安材料である統合の時期を再検討してほしい。 	<p>在する。その中で、子ども達へのメリットの多い方を選択した。ここで言うメリットとは教育を施すという観点からである。子どもの数は全国的に減り、保護者や子ども達の多くが期待している部活動は、生徒数が少ないことで、入りたい部活がなく、入りたい部活がある学校に移動して部活動を行うという現象が起きている。それが増えると益々生徒の集団生活で教育を受けるといった可能性が減ってしまう。メリット・デメリットというのは学習面にも生活面にもある。それは、部活動だけでなく行事も含む。先ほどの説明にもあったが、適正配置・適正規模というのは文部科学省で提示したものを基に入間市でも設定した。中学校の適正規模を考えるにあたり、教科におけるメリットを考えた。教師の人数は生徒数ではなく学級数で決まる。現在のクラス分けは40人1クラスとしている。41人で2クラスになる。10クラス未満の場合9教科の教員をそろえる事ができない。つまり、ある教科の教員がいないということになる。入間市で示したものは適正規模の最低ラインである。今、指摘された内容はその通りであり、教育委員会でも教育的視点を踏まえて議論した。交通安全や防犯に関することは専門家に任せて、子どもの教育として必要な適正規模・適正配置を入間市では考えた。</p> <p>(学校教育課) 安全面、健康面を考え、スクールバスも検討し、解決するように考えたい。</p> <p>(総務部長) この計画は2年間かけて市民の皆さんの意見を伺いながら、庁内での議論を通じてまとめたものである。現在はこのような説明会と2月末まで実施しているパブリックコメントでご意見を伺っている段階である。本日の意見も参考にする。今は、意見を伺ったから、すぐに結論を出すということとはできない期間である。今伺っている意見と正反対の意見を持つ人もいる。様々な意見や状況を考慮して、2月末まで意見を聞いて</p>
--	---

		て、3月末までにこの計画を策定したい。策定するまではすべての意見について、否定することはない。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仏子小学校と西武中学校ではこのような説明会が開かれていない。その2校の意見も聞いてほしい。西武中学校は生徒数が少なく危機的状況である。しかし、安全面に関して重要な問題がある。西武中学校は階段が狭く、段差も大きく怖い。災害が起きて避難する際に困難ではないか。部活動については小学校5年生から他校で行っている児童もいる。他校に行けない子は、入りたい部活ではない部活に入部することになる。統合することで人数が増えることは嬉しいが、野田中学校に一時的に移転して、西武中学校の安全性を確認した上で西武中学校を建替えるという案が出ないこと、またこのような会合が行われないうことに不安を感じる。西武中学校という校名を残すよりも正しい教育のできる場を設置してほしい。子どもの将来の安全性や正しく教育がなされることを一番に考えてほしい。また、新校舎建設にあたり、仮設校舎を建てるとなると、校庭等に制限が出ることは事実である。今は児童生徒数が少ないため、増えることを望むが、西武中学校に統合することを考えると果たして本当に安全なのか。川の問題もあるが、猪も出ることがある。危険性を隠したままで、何かが起こってからでは遅い。耐震工事やエアコンの取り付け、体育館の整備は行われたが、西武中学校の体育館は狭い。現実を見て、集約できる方の学校を選んでほしい。西武中学校、仏子小学校でも議論して、子どもにとって一番いい場所、良い環境、良いタイミングを選択してほしい。 	<p>(公マ課) ご意見として承る。仏子小学校と西武中学校の2校で敢えて説明会を開催していないわけではない。昨年度の夏に実施した地区懇談会では西武地区にある4校のPTAを通じて説明会を実施している。その他、意見交換会や説明会も学校を通じて開催した。開催をしていないわけではないが、要望があれば開催する。今回の開催も要望を頂き開催した。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追加資料 6①西武中学校の土砂災害の危険性について、埼玉県が指定している土砂災害警戒区域には指定されておらず、第2グラウンドも含めて危険性が低いものと判断しているとあるが誰が判断したのか。 ・ 西武中学校が土砂災害警戒区域に入っていないが安全なのか確認するために、飯能市にある埼玉県土整備事務所に確認した。土砂災害警戒区域がどのように設定されるかという、国が急傾斜地の崩壊、土石流や地滑りなど3種の土砂災害が起こりやすい地形を数値化している。これを都道府県が現地調査をし、土砂災害の限界地域 	<p>(危機管理課) 危機管理課と公共施設マネジメント推進課で協議した結果である。</p> <p>(危機管理課) 西武中学校は現在土砂災害警戒区域に指定はされていない。県の基準を満たした場所が入間市では土砂災害警戒区域として指定されている。今後基準が変わればそれに沿って変更することはある。</p>

	<p>を指定し、市町村が避難体制、ハザードマップを指定している。西武中学校周辺は、今のところ指定はされていないが、安全なのかということと安全とは言えないということだった。今後状況によっては指定される可能性もあると言われた。土砂災害警戒区域というのは、土砂災害の危険がある区域を知らせるためのもので、指定していない区域の安全を保障するものではないということだった。従って指定区域外でも土砂災害が起こることも十分ありえるということだった。2016年の台風では不老川が氾濫し、藤田堀の護岸が壊れ、一部住民が避難した。ここは入間市ハザードマップには指定されていない。これについても埼玉県土整備事務所に確認したところ、現在は指定していないが、今後の調査次第で入ることもあるということだった。西武中学校は傾斜地と川という目に見えるリスクがあり、そこに通う子どもと避難所として使う市民の命を第一に考えるのであれば、このリスクを重く受け止めてほしい。</p>	
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画を野田中学校存続という案に戻す方法を教えてほしい。 ・ パブリックコメントを提出すればこの案が覆ることがあるのか。 	<p>(公マネ課) 今、答えがあるわけではないが、今回原案を示して意見を頂いている状況である。頂いた意見を検討する。野田中学校を活用するという意見を出すことしかない。</p> <p>(公マネ課) パブリックコメントは市民から意見を頂く方法の一つである。意見に基づいてどのようにまとめるか検討するもので、意見を頂いて、それが全く反映されないということはない。しかし、すべての意見を反映させることもできない。意見はいろいろな角度から出てくる。意見が出たからすぐに直すとは言えないが、意見を踏まえて、最終的にどのような案にするのかを決定する。そのため、意見については、ぜひパブリックコメントを提出して頂きたい。</p>